

高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第10週 （3月4日～3月10日）

★ お知らせ

インフルエンザ 注意報値！

- ◆ 定点当たり報告数は、県全体で引き続き注意報値超え！
- ◆ 定点医療機関迅速検査情報（小児科：A型 42% B型 58% 内科：A型 70% B型 30%）
- ◆ 感染力は大変強く、集団生活の場で注意
- ◆ 予防法は、手洗い、うがい、咳エチケット

咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告は定点当たり 9.37 で前週と変化はありませんが、福祉保健所管内別にみると約 2.5 倍増加したところがあります。例年初冬から増加し始め、12 月頃に一度ピークをむかえた後、春にもう一度なだらかな山となり、その後初夏まで継続するという流行パターンをとっていますので引き続き注意してください。予防の基本は手洗いです。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		19.77	全体は減少したが引き続き注意報値を超している。全ての地域で注意報値を超している。
感染性胃腸炎		9.37	幡多、須崎、安芸で増加している。
水痘		1.43	幡多以外で増加している。
マイコプラズマ肺炎		1.00	高知市で2人から7人に増加している。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.90	中央東以外で減少している。

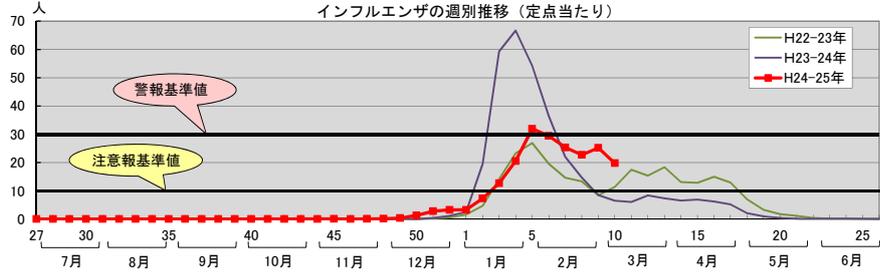
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

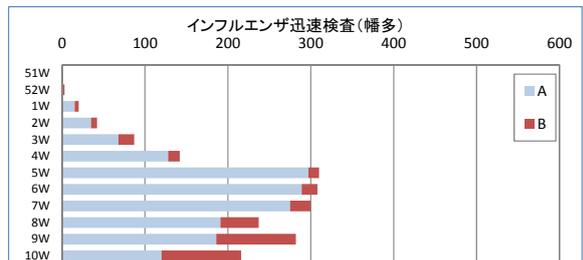
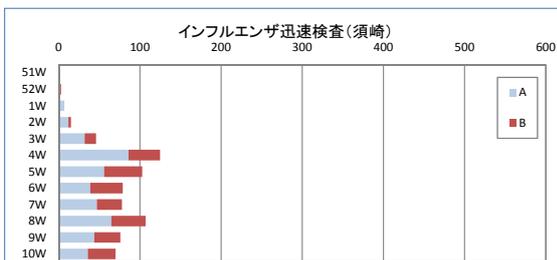
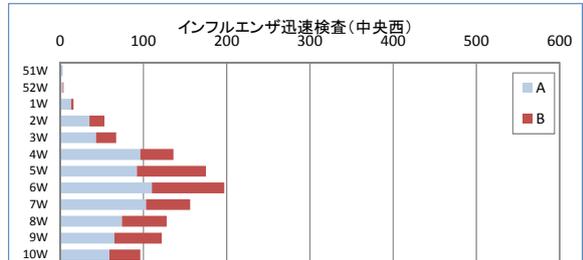
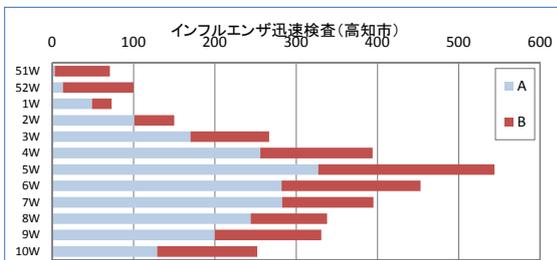
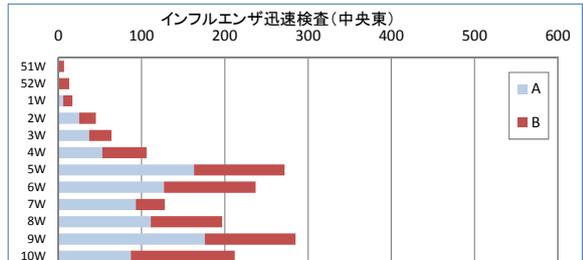
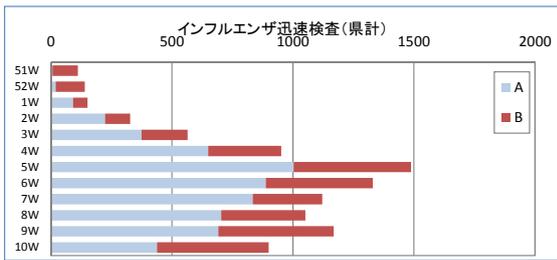
○インフルエンザ：19.77 （注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 19.77（前週：25.21）と減少しましたが、県全体及び全ての地域で引き続き注意報値を超えています。また、学校欠席者情報収集システムではインフルエンザウイルスは、A型は減少していますが、B型は増加しています。定点医療機関からの迅速結果報告では、インフルエンザウイルスA型とB型の割合は同程度となっています。引き続き手洗い、うがい、咳エチケットに心がけてください。



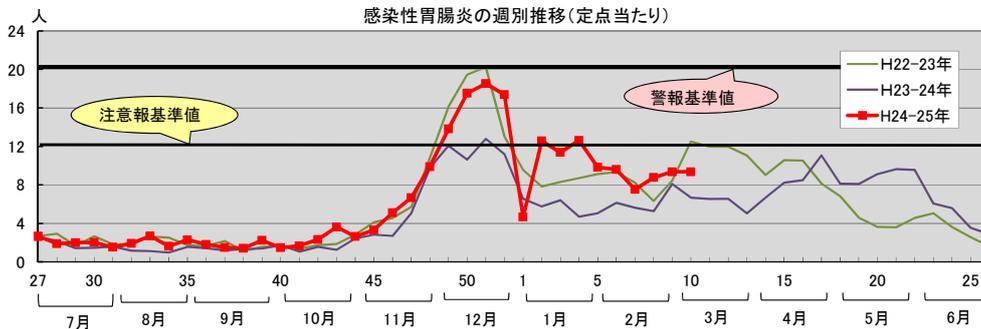
インフルエンザ迅速検査結果

報告週	安芸			中央東			高知市			中央西			須崎			幡多			合計			
	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	検査	A	B	
51W	84	30	35	7	277	3	68	19	3	16	1	17	17	448	7	105						
52W	50	1	16	66	13	308	13	87	38	3	1	34	2	1	14	1	2	510	20	120		
1W	55	2	16	46	6	11	232	49	24	60	13	3	25	7	52	15	5	470	92	59		
2W	66	16	7	124	25	20	404	101	49	104	35	18	45	12	3	129	35	7	872	224	104	
3W	87	25	9	136	37	27	559	170	97	144	43	24	98	32	14	249	68	19	1273	375	190	
4W	74	31	18	240	53	53	775	256	138	249	96	40	232	86	39	410	128	14	1980	650	302	
5W	151	68	16	469	163	109	1055	327	217	323	92	83	184	56	47	620	297	13	2802	1003	485	
6W	123	41	15	374	127	110	953	282	171	356	110	87	171	39	40	726	289	19	2703	888	442	
7W	149	33	31	310	93	35	946	283	112	292	103	53	192	47	31	737	275	25	2626	834	287	
8W	123	19	26	374	111	86	839	244	94	269	74	54	201	65	42	533	191	46	2339	704	348	
9W	158	21	52	578	176	109	811	200	131	256	65	57	169	44	32	613	186	96	2585	692	477	
10W	130	8	46	449	87	125	706	129	123	182	59	37	164	36	34	548	120	96	2179	439	461	



○**感染性胃腸炎：9.37**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり9.37（前週：9.37）と変化ありません。幡多（11.40：前週4.60）安芸（9.50：前週4.00）須崎（10.00：前週9.50）で増加しています。定点医療機関からの情報ではロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告があります。感染力が強く今後も施設等での集団発生の危険性が考えられるので注意してください。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



★ **病原体検出情報**

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
8	感染性胃腸炎	3	女	須崎	<i>Campylobacter coli</i>
8	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	男	中央西	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>

★ **全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	2	25	50歳代（女）	高知市
				60歳代（男）	中央西

★ **定点医療機関からのホット情報**

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 1例（2歳）
中央東	あけぼの小児科クリニック	ロタウイルス胃腸炎 6例（0歳1名、1歳5名） アデノウイルス咽頭炎 4例（1歳2名、2、6歳） 帯状疱疹 1例（3歳女）
	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎 1例 （11歳男：カンピロバクターと病原性大腸菌 O-8 検出）
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 1例（6歳女） 病原性大腸菌 O-74 1例（13歳女：ペロ毒素（-））
	細木病院小児科	ロタウイルス（+） 3例（1、2、3歳男）
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 3例（男1名、女2名） ノロウイルス（+） 3例（男3名）
中央西	石黒小児科	帯状疱疹 1例（9歳女）
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1例（8歳女） 帯状疱疹 1例（4歳男） マイコプラズマ肺炎 1例（9歳男） 感染性胃腸炎はロタによるものが中心
幡多	さたけ小児科	ロタウイルス感染症 1例（1歳男）
	幡多けんみん病院小児科	ロタウイルス（+） 2例（1、2歳男）
	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例（1歳女）

※インフルエンザ情報につきましては迅速検査結果に反映させていただいておりますので、ホット情報では省かせていただきます。

★ 全国情報

第8週 (2/18～2/24)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核359例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症17例、腸チフス2例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎3例、つつが虫病1例、デング熱1例、マラリア2例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎6例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群15例、梅毒10例、破傷風2例、
風しん219例、麻しん8例

報告遅れ：E型肝炎2例、エキノкокクス症1例、マラリア1例、急性脳炎6例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

★ 重症熱性血小板減少症候群について

県内において、重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS）と考えられる症例が初めて確認されました。平成25年1月に山口県で初めて患者が報告され、その後、愛媛県、宮崎県、広島県、長崎県で患者の発生が確認されています。

重症熱性血小板減少症候群は、近年中国の中央部等7省で流行が見られている疾患で、2011年に初めて特定された、新しいウイルス（SFTSウイルス）に感染することによって引き起こされる病気です。

感染経路は、多くの場合、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染しています。インフルエンザのように容易に人から人へ感染して広がるものではありません。マダニは屋内に生息するダニとは種類が異なります。マダニは、主に森林や草地等の屋外に生息しており、市街地周辺でも見られます。特にマダニは春から秋にかけて盛んに活動することから、これらの時期、屋外でのマダニ対策が重要となります。

主にマダニに咬まれてから6日から2週間程度の潜伏期を経て、発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）が出現します。時に頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、出血症状（紫斑）などを起こします。血液所見では、血小板減少（10万/立法ミリメートル未満）、白血球減少（4000/立法ミリメートル未満）、血清酵素（AST、ALT、LDH）の上昇が認められます。致死率は10から30%程度といわれています。現在のところ、有効な抗ウイルス薬やワクチンは無く、対処療法になります。

予防方法としては、マダニに咬まれないようにすることが重要です。農作業や庭仕事、レジャーなど野外で活動する際には、次のことに気をつけてください。

- 長袖、長ズボンなどを着用して皮膚の露出を避け、すそを入れ込んでダニの付着を防ぐ。
 - 肌が出る部分には防虫スプレーを噴霧する。（説明書の注意書きに沿って使用してください）
 - 作業後は、体や服をはたき、ダニに刺されていないかを確認する。
 - 帰宅後は、すぐに入浴して身体をよく洗い、付着したダニを落とし衣服は洗濯する。
 - 吸血中のマダニを見つけた場合は、できるだけ医療機関で措置する。
 - マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診する。
-

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第10週 平成25年3月4日(月)～平成25年3月10日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)		全国(9週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/3/10	H24/12/31～H25/3/3		
インフルエンザ	インフルエンザ	67	236	255	96	79	216	949 (19.77)	1,210 (25.21)	60,609 (12.26)	9,515 (198.23)	890,518 (180.89)		
小児科	咽頭結核熱			5				5 (0.17)	()	921 (0.29)	12 (0.40)	7,560 (2.41)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	9	11		1	27 (0.90)	41 (1.37)	7,045 (2.23)	216 (7.20)	48,727 (15.53)		
	感染性胃腸炎	19	36	127	22	20	57	281 (9.37)	281 (9.37)	30,265 (9.59)	2,864 (95.47)	216,921 (69.15)		
	水痘	5	6	22	2	2	6	43 (1.43)	30 (1.00)	3,341 (1.06)	480 (16.00)	36,698 (11.70)		
	手足口病						3	3 (0.10)	6 (0.20)	578 (0.18)	44 (1.47)	4,939 (1.57)		
	伝染性紅斑			1				1 (0.03)	2 (0.07)	177 (0.06)	22 (0.73)	1,484 (0.47)		
	突発性発疹			4	2	1	2	9 (0.30)	10 (0.33)	1,469 (0.47)	91 (3.03)	12,145 (3.87)		
	百日咳							()	()	29 (0.01)	4 (0.13)	274 (0.09)		
	ヘルパンギーナ							()	()	73 (0.02)	1 (0.03)	539 (0.17)		
	流行性耳下腺炎							()	()	738 (0.23)	17 (0.57)	6,539 (2.08)		
RSウイルス感染症		6	12	1	2	5	26 (0.87)	35 (1.17)	1,184 (0.38)	454 (15.13)	14,052 (4.48)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	16 (0.02)	()	140 (0.21)		
	流行性角結膜炎							()	()	320 (0.47)	2 (0.67)	2,905 (4.27)		
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	15 (0.03)	1 (0.14)	69 (0.15)		
	無菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	()	92 (0.20)		
	マイコプラズマ肺炎		1	7				8 (1.00)	4 (0.50)	238 (0.51)	49 (7.00)	2,545 (5.45)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 (0.13)	()	12 (0.03)	3 (0.43)	123 (0.26)		
計	91	291	444	134	104	290	1,354	(32.94)	107,037	13,775	1,246,270			
(小児科定点当たり人数)	(28.75)	(29.17)	(32.30)	(31.87)	(32.25)	(41.80)				(338.39)				
前週	101	364	542	170	106	329		1,619						
(小児科定点当たり人数)	(29.50)	(36.28)	(39.34)	(40.39)	(32.25)	(44.73)		(38.72)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)		全国(9週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/12/31～H25/3/10	H24/12/31～H25/3/3		
インフルエンザ	インフルエンザ	16.75	21.45	15.94	19.20	19.75	27.00	19.77	25.21	12.26	198.23	180.89		
小児科	咽頭結核熱			0.45				0.17		0.29	0.40	2.41		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	0.82	3.67		0.20	0.90	1.37	2.23	7.20	15.53		
	感染性胃腸炎	9.50	5.14	11.55	7.33	10.00	11.40	9.37	9.37	9.59	95.47	69.15		
	水痘	2.50	0.86	2.00	0.67	1.00	1.20	1.43	1.00	1.06	16.00	11.70		
	手足口病						0.60	0.10	0.20	0.18	1.47	1.57		
	伝染性紅斑			0.09				0.03	0.07	0.06	0.73	0.47		
	突発性発疹			0.36	0.67	0.50	0.40	0.30	0.33	0.47	3.03	3.87		
	百日咳									0.01	0.13	0.09		
	ヘルパンギーナ									0.02	0.03	0.17		
	流行性耳下腺炎									0.23	0.57	2.08		
RSウイルス感染症		0.86	1.09	0.33	1.00	1.00	0.87	1.17	0.38	15.13	4.48			
眼科	急性出血性結膜炎									0.02		0.21		
	流行性角結膜炎									0.47	0.67	4.27		
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.03	0.14	0.15		
	無菌性髄膜炎									0.01		0.20		
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.40				1.00	0.50	0.51	7.00	5.45		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13		0.03	0.43	0.26		
計	28.75	29.17	32.30	31.87	32.25	41.80	32.94			338.39				
(小児科定点当たり人数)														
前週	29.50	36.28	39.34	40.39	32.25	44.73		38.72						
(小児科定点当たり人数)														

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869